



# 森のなかま

2021年 3月号

NO. 153 (継続298号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明  
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

## <かながわトラストみどり財団主催> ブラシュアップ研修

### 「野外活動における安全管理」

日時： 2021年2月13日(土) 10:00~15:00

場所： オンライン研修

講師： 渡辺 直史 氏 (わたなべ なおふみ)

プラムネット株式会社 アウトドア共育事業部 統括リーダー

スタッフ： 財団 豊丸課長、藤本氏

研修生： 34名

(記 黒川 敏史<sup>④</sup> 写真 講師渡辺氏より提供)

#### ■スケジュール

09:30~09:55 受付

10:00~10:15 開会、主催者挨拶、講師挨拶、  
ZOOMの使い方など

10:15~12:00 **基礎編**

<お昼休憩：1時間>

13:00~14:45 **発展編**

14:45~15:00 質疑応答、主催者挨拶、閉会

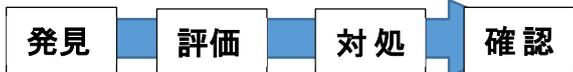
今年度のブラシュアップ研修は、第一回 集合研修 第二回 会場視聴およびオンライン研修の予定

でしたが、コロナ対策の緊急事態宣言下で、第一回は中止、

第二回は、会場視聴を中止し、全員自宅から Zoom 研修に参加となりました。

2月13日の第二回研修は、体験活動リスクマネジメントトレーナーの渡辺直史氏による「野外活動における安全管理」と題して、開催されました。Zoomを用いたオンライン研修に、34名のインストラクターメンバーが参加しました。まず、Zoomの反応の仕方などの説明があり、慣れないメンバーも使いこなせるようになりました。

午前の講義は、リスクとヒヤリハットから始まり、リスクは「もやもや」と感じられる事故につながる要因であること、リスクを管理(リスクマネジメント)することで、安全な活動が得られることと進みます。我々のような活動の指導者に課せられているのは、参加者に対する注意義務(危険予知義務、危険回避義務)を怠る**過失**を犯さないこと。リスクマネジメントを知らない、やれない、やらない指導者は、現場に立てない、立たせないという厳しい指摘がありました。次にリスクマネジメントの基本手順の説明に移り、実習を交えながら、下図の4項目を順



を追って研修しました。リスクを環境要因(道具、気象など)、参加者要因(参加者の行動、体調)、指導者要因(指導者の心、体調)に分けて、一人だけではなくスタッフ全員で要因を上げていくことで、より多くのリスクを**発見**できること。次に見つけた リスクを「事故にしかつながらない危険」か「学びにつながるリスク」かどうかを**評価**すること。前者のリスクは極力排除し、後者はリスクを小さくする**対処**をすること。対処後にそれが有効であるかの**確認**が必要で、状況変化によるリスクの発見のため、見まもりが



講師の渡辺氏と研修生の様子  
(Zoom画面から)

必要なこと。危険(リスク)をすべて排除すると、活動自体が成り立たなくなるので、そうではなく、森林活動の安全管理の考え方は、「学びのリスク」を安全に提供すること、とまとめられました。

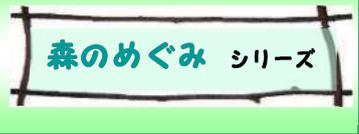
午後は、岐阜県で起きた落枝による死亡事故を題材にして、リスクマネジメントの実習を行いました。途中 Zoom のグループミーティングも交え、グループごとに事故のリスク要因を挙げていき、また自分たちインストラクター活動のリスクについても話しをしました。最後にいくつかの事故事例の紹介があり、講義が終了しました。

講師の渡辺様、トラストみどり財団の皆様、今後の活動に直結できる大変有意義な研修をありがとうございました。

### 活動短 信

今回の掲載は R2 年 12 月 23 日-1 月 16 日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

森のめぐみの掲載は、今月号はありません。次掲載は 4 月号の予定です。



### 3 月(弥生)(旧暦 2 月如月)の 二十四節気と七十二侯

**啓蟄** 3/6 頃  
冬眠していた虫が出てくる 桃が咲き始める

**春分** 3/20 頃  
桜が咲き始める 雷が聞こえるようになる

### ◆ 第 18 回 県民参加の森林づくり活動

**日** 令和2年12月23日(水)8:50~13:30 晴  
**場** 川崎市麻生区(栗木山山王特別緑地)  
**参** 37名  
**県** 川崎市:鶴見様、森田様  
麻生区道路公園センター:飯坂様、村内様、他1名  
公園緑地協会:浜田様、野牛様、川瀬様、杉澤様  
**財** 大木様、藤本様  
**看** 佃様  
**スタッフ** 森林組合:樋口様  
**イ** L・高橋⑨、渡部⑦、東⑫、大橋⑪、谷⑭、松石⑬、北村⑬、山崎⑫、星野⑬、竹内⑮、佐藤⑯  
**安ハト** 松永⑪、鈴木⑭

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明  
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。  
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので)

写真もあれば添付ください。

#### ◆ 活動団体・活動名 等

**日** 日付(できれば時間と天気も)  
**場** 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)  
**参** 参加者 人数  
**県** 例 神奈川県 環境農政局 緑政部  
水源環境保全課 水源の森林推進グループ  
**財**(公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師  
**スタッフ** 例 小田原市森林組合XX様  
例 川崎市公園緑地協会・XX様  
**イ** インストラクター① (○数字:期) **研**:研修枠  
以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください  
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)  
\*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

コロナ禍の平日実施および桐光学園登校時間とずらすことから、集合時間を遅らせ時短での実施となった。当日の現地は霜で覆われる程の冷え込みだったが、快晴に恵まれ作業日和となった。前年度に引き続き、傾斜地での竹林の皆伐作業を行った。参加者は昨年と同じくらいで殆どがリピーターだったが、急斜面での作業のため安全第一に作業を行った。集積場所も昨年同様限定し、導線を確認したので短時間であったが流れ良く無事に作業を終了した。

日が差した広場でのお弁当タイムは気持ちよく、コロナ禍を忘れさせてくれた。

(記 佐藤 悦子⑯)

## ◆ 第19回 県民参加の森林づくり活動

**日** 令和3年1月16日(土)9:20～11:40 晴

**場** 川崎市多摩区(菅北浦緑地)

**参** 22名

**県** 川崎市:坂様、鶴見様、森田様

多摩区道路公園センター:渡邊様

公園緑地協会:野牛様、川瀬様、杉澤様

**財** 豊丸課長、大木様、寺本様

**看** 青木様

**スタッフ** 森林組合:岡本様

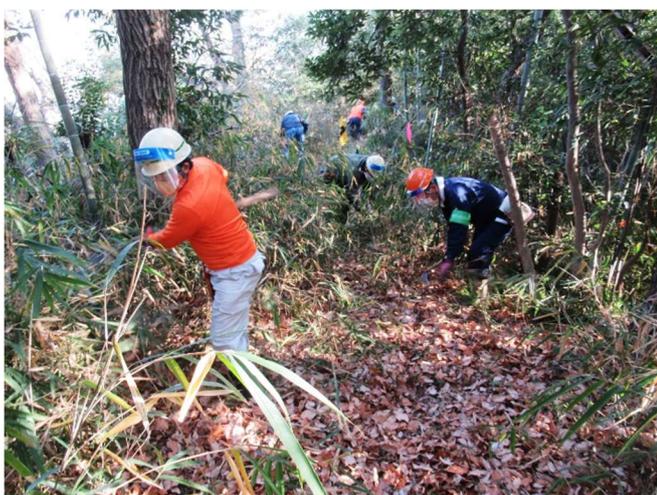
**イ** L・湯浅⑪、小野⑦、久保⑧、上田⑩、

齋藤⑧、大見⑮、山口⑪、大橋⑪、竹内⑮

山下⑪、山崎⑫、飛田⑮、伊東⑭、佐藤⑯

**安ハト** 佐藤⑤、宮下⑩

非常事態宣言発令中の中、22名の参加者を迎え、ソーシャルディスタンスを保ち、フェースシールドにマスクをして活動を行った。当日は予報通り快晴に恵まれ、日陰に寒さを残しつつも暖かい活動日和となった。今回はササ(アズマネザサ)等の除伐作業で、中鎌にて地際から刈り取ることを目指したが、落葉が思ったより深く、また、作業



場所が階段あり、坂道あり、両側は急斜面ありと、足元に注意を払う必要があった。葉を掻き出してから鎌を入れたグループもあれば、鎌で刈った後、落葉を掻き出しながら先端がとがらないよう丁寧に地際に鎌を入れたグループもあった。

気がつくとも手でかき分けながら進むしかなかった遊歩道が見通しよく明るく広い道になっていた。今回は鎌を初めて使う参加者もいたが、慎重に丁寧に作業を行い、怪我もなく無事終了した。

作業を終えて、参加者から道具の使い方や安



全面での勉強になったとの意見・反省の声が聴けた。またインストラクター反省会からも、より安全な作業ができるよう意見・提案が出され、それを聞いていた川崎市関係者から、安全に対するインストラクターの姿勢に感心されたとの意見もいただいた。常に安全に対する意識を高く持ってこれからも望みたいと思う。

(記 佐藤 悦子⑯)

写真 上田 啓二⑩ 野牛 雪子⑧)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

第二回目の緊急事態宣言が、発出されたことを受け、

2/6, 2/11, 2/23 実施予定の「県民参加の森づくり」活動が中止となっています。

やどりき水源林ミニガイド

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP担当：井出恒夫)

「森の案内人」

3月13日から、森の案内人を開始します。

3月13日の「やどりきの森へいこう」(下記)は、定員に達しましたので募集しめ切りました。

「やどりき水源林ニュース」

3月号から発行します。

<http://www.forest-kanagawa.jp/4field.html#field02>

●問合せ:

(公財)かながわトラストみどり財団

TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

E-mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会

宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

黒川 敏史

Mail:

[kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp](mailto:kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp)

Tel: 080-5477-2206

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: [happy\\_kumakuma711@cloud.com](mailto:happy_kumakuma711@cloud.com)

<電子配信企業等パートナー様向け担当>

柳澤 Mail: [cherril@gk9.sor-net.ne.jp](mailto:cherril@gk9.sor-net.ne.jp)

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史

Fax: 0467-46-8650

電話連絡先: 080-5477-2206

Mail:

[kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp](mailto:kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp)

【別冊】阿藤 寿孝

Tel: 045-433-4413

Mail: [hisa-ato2@22.netyou.jp](mailto:hisa-ato2@22.netyou.jp)

原稿は随時受付けています。

編集後記

★首都圏のコロナが減ってきたと思うけど、県西部の方の市では1月の増加は過去最高。まだまだ注意が必要です。世界はコロナだけでなく、ミャンマーその他の問題が山積。サルガドの写真集を見たが、世の中のスピードはコロナ以上の速さで拡散している。(吉田)

★近所を散歩しているとみなとみらいのビル群、富士山の山々、新横浜プリンスHを見渡せるビューポイントがいくつかあるのですが、最近はその高台まで住宅建築がすすみ見晴らしが家の壁に阻まれてます!(阿藤)

★コロナに負けない様体力維持を図っていますが、コロナストレスのせいなのか食べる量が増え体重増加です。若い時のようにハード運動(できない)ですぐに減らす事ができず苦戦していますが、主に境川を南北に日に7,000~18,000歩。今年は鳥が結構います。今まで見かけなかったオナガガモがいました。(松本)



オナガガモ (撮影 松本)

★県や市の活動が相次いで「自粛」となる中、地元の小さな緑地の整備活動に参加しています。2月21日、5月のような暖かさにつられ、もうウグイスがたどたどしく鳴いていて驚きました。コロナに振り回される人間の営みをよそに、春は着実に近づいていて、ホッとしました。(竹内)

編集人: 黒川 敏史

広報部: 吉田郁夫 松本保

笠原かずみ 加藤優美

阿藤寿孝 竹内明彦

柳澤千恵美 小林照夫

武田昭典 中澤良夫

支援: 大原正志 江頭淑子

★今まで何ともなかったのですが、この年になって花粉症の症状が出始めたようです。目がかゆく、くしゃみが出ます。今の状況で人前でくしゃみの発作は困ったもんです。(黒川)

529ヘクタールの水源の森からのホットなご案内

森の案内人★特別企画 無料★要申込

やどりきの森へいこう!

第3回テーマ: 群生するミツマタの輝花を拝

開催日: 3月13日(土) 雨天決行 申込締切: 3月1日(月)

場所: やどりき水源林(足柄上郡 杉田町 寄) 定員: 30名(先着順)

集合: 小田急小田原線 新松田駅北口に8時30分までにお越しください。

かながわ森林インストラクターがご案内いたします。

※新松田駅へやどりき水源林ゲート間はバス通迎となります。料金は別途(600円)。

帰り: やどりき水源林ゲート14:30発 → 新松田駅 乗車料別途

“ミツマタ”の群生をみなご 森林インストラクター



フサザクラ、ダンコウバイの花も見頃です。水源林は本番の春を迎える躍動感一杯です。

● 問合せ先\*公益財団法人かながわトラストみどり財団 みどり森林課

TEL: 045-412-2255 webサイト: [www.ktm.or.jp](http://www.ktm.or.jp)

● 申込み先\*NPO法人かながわ森林インストラクターの会

住所: 〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604

E-mail: [k-insist0981@friend.ocn.ne.jp](mailto:k-insist0981@friend.ocn.ne.jp)

参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、往復はがき、又はメールでお申し込みください。多数応募の場合は、受付順とさせていただきます。参加いただける方には後日、詳細を記した参加証を送付させていただきます。